

## 2.1.12 据付関連事項

### (1) 据付上の遵守事項（法規上）

#### (a) 空調機械室の換気装置に関して〔冷凍保安規則〕

冷媒漏洩時の限界濃度が $0.3\text{kg}/\text{m}^3$ を超える恐れのある場合は、換気装置の設置が義務づけられています。

冷媒設備の全冷媒充填量(kg) \_\_\_\_\_ 限界濃度( $\text{kg}/\text{m}^3$ )  
冷媒設備を設置する最小の室内容量( $\text{m}^3$ )

詳細については825ページをご覧ください。

#### (b) 電気ヒータ取付に関して〔火災予防条例〕

各条例を確認の上所定の手続きをしてください。詳しくは、所轄の消防署にご相談ください。

〔電気ヒータは弊社の純正部品のご使用をお勧めします。〕  
〔取扱先：三菱重工冷熱機材(株)〕

### (2) 据付場所

(a) 十分強度のある場所に水平に据付けてください。

(b) 据付場所と騒音を考慮して据付けてください。

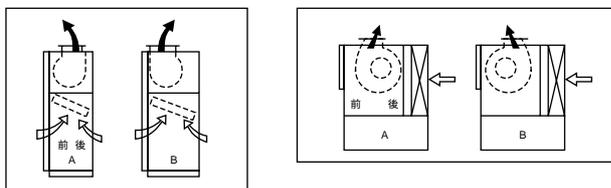
(c) サービススペースを取ってください。

(外形図をご覧ください)

### (3) 吹出口変更方向

DPJ500, 630

DPJ800, 1000, 1250,  
1600, 2000



注(1) 各形式ともAが標準タイプです。

### (4) 加熱器組込方向

形式	DPJ160	DPJ250	DPJ315	DPJ500	DPJ630	DPJ800	DPJ1000	DPJ1250	DPJ1600	DPJ2000
正面	DPJ160T	DPJ250T	DPJ315T							
左側面										
右側面										
上面										

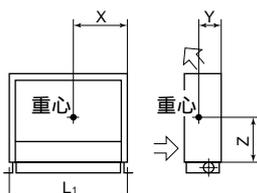
### (5) 防振設計用参考資料

#### (a) 耐震データ

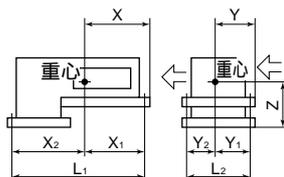
項目 形式	製品外形寸法 幅×奥行×高さ (mm)	製品 質量 (kg)	重心位置 (mm) <sup>(1)</sup>								
			幅方向				奥行方向				高さ Z
			X	X <sub>1</sub>	X <sub>2</sub>	L <sub>1</sub>	Y	Y <sub>1</sub>	Y <sub>2</sub>	L <sub>2</sub>	
DPFJ20J	936×250×750	53	400			954	120				350
DPFJ28K		60	380			954	120				350
DPFJ45K	1240×250×750	75	550			1258	120				350
DPFJ63K	1240×275×750	78	550			1258	130				350
DPCJ28K	1060×710×392	82	700	650	265	915	350	325	425	750	180
DPCJ45K	1220×710×392	93	850	800	275	1075	300	275	475	750	180

注(1) L<sub>1</sub>(X<sub>1</sub>, X<sub>2</sub>), L<sub>2</sub>(Y<sub>1</sub>, Y<sub>2</sub>)寸法は据付ボルトの位置を示します。

#### DPF形

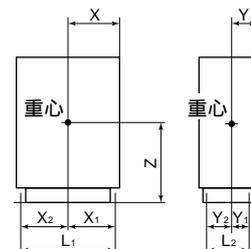


#### DPC形



項目 形式	製品外形寸法 幅×奥行×高さ (mm)	製品 質量 (kg)	重心位置 (mm) <sup>(1)</sup>								
			幅方向				奥行方向				高さ Z
			X	X <sub>1</sub>	X <sub>2</sub>	L <sub>1</sub>	Y	Y <sub>1</sub>	Y <sub>2</sub>	L <sub>2</sub>	
DPJ160	875×460×1800	200	440	451	446	897	250	217	161	378	700
DPJ160T											
DPJ250	1100×560×1820	260	600	606.5	506.5	1113	280	217	194	411	710
DPJ250T	1100×560×1700	245									700
DPJ315	1360×560×1820	295	700	706.5	666.5	1373	280	217	194	411	710
DPJ315T	1360×560×1700	285									700
DPJ500	1650×660×1870	465	800	818	868	1686	330	250	235	485	800
DPJ630	1850×750×1870	585	915	933	953	1886	400	320	255	575	800
DPJ800	1910×1085×1893	800	990	955	885	1840	550	329	371	700	840
DPJ1000	1910×1085×1893	830	990	955	885	1840	550	329	371	700	840
DPJ1250	2136×1383×1816	1000	1078	1050	1030	2080	805	540	360	900	640
DPJ1600	2136×1383×1816	1090	1093	1065	1015	2080	800	535	365	900	620
DPJ2000	2656×1383×1956	1450	1318	1290	1310	2600	807	542	358	900	695

DP形



注(1) L<sub>1</sub>(X<sub>1</sub>, X<sub>2</sub>), L<sub>2</sub>(Y<sub>1</sub>, Y<sub>2</sub>)寸法は据付ボルトの位置を示します。

## (b) 防振データ

(50/60Hz)

項目 形式	圧縮機回転数 (rpm)	送風機回転数 (rpm)
DPFJ20J	2900/3450	745/755
DPFJ28K		700/725
DPFJ45K		745/770
DPFJ63K		880/815
DPCJ28K	2900/3450	1250/1300
DPCJ45K		1230/1250
DPJ160	2900/3500	800/800
DPJ160T		(1120/1310)
DPJ250	2900/3500	720/720
DPJ250T		(910/1065)

(50/60Hz)

項目 形式	圧縮機回転数 (rpm)	送風機回転数 (rpm)
DPJ315	2900/3500	740/740
DPJ315T		(1040/1235)
DPJ500	2900/3500	910/1090
DPJ630	2900/3500	960/1150
DPJ800	2900/3500	780/940
DPJ1000	2900/3500	780/940
DPJ1250	2900/3500	621/744
DPJ1600	2900/3500	735/878
DPJ2000	2900/3500	533/636

注(1) 送風機回転数は出荷時の値を示します。ダクト仕様で変更した場合はその回転数によってください。

## 2.1.13 仕様変更受注範囲一覧

改修項目	形式												
	DPJ160	DPJ160T	DPJ250	DPJ315	DPJ250T	DPJ315T	DPJ500	DPJ630	DPJ800	DPJ1000	DPJ1250	DPJ1600	DPJ2000
1. ブーリ・ベルト交換	x		x										
2. ファンモータ格上	x		x										
3. ダクト用送風装置													
4. 後吸込仕様	x	x	x										
5. 吹出方向変更	x	x	x										
6. 異電圧													
7. 進相コンデンサ取付													
8. 入始動(送風機)	x	x	x	x	x	x	x	x	x				
9. 入始動(圧縮機)	x	x	x	x	x	(2)/x	x	x					
10. 標準遠方操作回路													
11. 補助連動・インターロック回路													
12. 電気ヒータ組込										(3)/x		x	
13. 送風機残留運転回路										(3)/x			
14. 加湿器組込													
15. 温水・蒸気ヒータ組込													
16. 配管方向変更													
17. 塗装色変更													
18. 塩害対策													
19. 建設省仕様													
20. 年間冷房仕様													

注(1) この表は特殊仕様として標準機を部分改修する際の受注範囲を示すもので記号は下記を表わします。

：受注可 x：受注不可・改修出来ません。  
-：改修不要・必要性のないものです。

(2) DPJ500の圧縮機はスターデルタ始動を採用しています。

(3) DPJ600の/は、50Hz/60Hzを示します。

備考1. 改修については各地区の三菱重工販売(株)にご相談ください。